

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

キュウリでのウイルス病の発生に注意！

県内の施設栽培キュウリにおいて、黄化えそ病や退緑黄化病が発生しています。

これらの病害による被害の拡大を抑えるため、下記事項を参考とし防除対策を徹底してください。



黄化えそ病を媒介する
ミナミキイロアザミウマ



退緑黄化病を媒介する
タバココナジラミ

記

1) 発生状況

9月6日に普及センター、JAとともに施設栽培キュウリ圃場を調査した結果、6圃場のうち5圃場で新葉の黄化、モザイク、葉脈透過、えそ斑点、葉脈えそ、黄化等の症状が見られ（写真1～8）、黄化えそ病の病原ウイルス（MYSV）および退緑黄化病の病原ウイルス（CCYV）が検出された。また、媒介虫であるミナミキイロアザミウマやタバココナジラミの発生も見られた（表1参照）。

表1 調査キュウリ圃場におけるウイルス病と媒介虫の発生状況

調査地点	定植時期	品種	発生株率(%)			
			ミナミキイロアザミウマ	黄化えそ病	タバココナジラミ	退緑黄化病
A圃場	7月28日	兼備2号	10	4	10	0
B	8月22～23日	ゆうみ	0	0	70	0
C	7月31日	ゆうみ	45	0	0	1
D	7月21日	ゆうみ	0	10	0	0
E	7月24日	ゆうみ	0	0	5	1
F	7月23日	兼備2号	0	0	15	2

注) ウイルスの検出は農業技術防除センターで実施した。

2) 防除対策

まず、写真1～8を参考に圃場での発病株の発生の有無を調査する。

○発病株が認められた圃場で特に至急行う対策

発病株は伝染源となるため、必ず抜き取り、圃場外へ持ち出して埋却するか、ビニル袋に入れて完全に枯れるまで密閉処理するなど適切に処分する。以下、次の基本的な対策を徹底する。

○基本的な防除対策（各圃場共通）

(1) 媒介虫の生息・増殖源となる雑草等の除去

圃場内外の雑草を徹底して除去する。

(2) 施設内への媒介虫（ミナミキイロアザミウマ、タバココナジラミ）の侵入防止

野外から施設内への媒介虫の侵入を防止するため、施設開口部（サイドおよび天窓、谷、出入口等）を防虫ネット（0.4 mm以下が望ましい）で被覆する。なお、今後定植する圃場では、育苗時からの防虫ネット被覆を徹底する。

(3) 媒介虫の徹底防除

- ① 圃場内に粘着トラップを設置し、媒介虫の発生を確認したら、ただちに薬剤防除を実施する。
- ② 媒介虫は葉裏に寄生することが多いことから、薬剤は葉裏にもかかるように、十分量を丁寧に散布する。
- ③ 今後定植する圃場では、育苗期後半から定植時には、必ず粒剤を施用する。
- ④ 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避ける（県病虫害防除のてびき HP http://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00322029/index.html 参照）。
- ⑤ ミナミキイロアザミウマについては、近年、薬剤感受性の低下により、薬剤の防除効果が十分に得られない場合も考えられるため、天敵（スワルスキーカブリダニ、タイリクヒメハナカメムシ）等を利用した総合防除を行う（県特別栽培農産物認証制度に対応した総合防除体系 HP http://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00323290/index.html 参照）。

○キュウリ黄化えそ病（MYSV）の症状



写真1 新葉の黄化



写真2 新葉の葉脈透過



写真3 中段のモザイク



写真4 えそ斑点



写真5 葉脈えそ



写真6 黄化えそ

○キュウリ退緑黄化病 (CCYV) の症状



写真7 モザイク



写真8 葉脈間退緑

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部
〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088
TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085
Mail nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp